

新技術発表会 in大阪

～ 新技術、新工法の理解、活用促進に向けて ～

第12回テーマ

「土工、コンクリート工、道路維持修繕編」

日時

2014. 3/3 月

13:00～17:00 (受付12:00～)

会場

エル・おおさか 南ホール

(大阪市中央区北浜東3-14)

TEL.06-6942-0001

定員100人

新技術発表会プログラム

12:55
～13:00

お知らせ

13:00
～13:25

「地盤改良管理システム」
／(株)岩崎

13:25
～13:50

「ポンテラン工法」
／ポンテラン工法協会

13:50
～14:15

「面的施工管理システム ロードランナー」
／ライカジオシステムズ(株)

14:15
～14:40

「高分子天然ガス圧接継手工法(エコスピード工法)」
／エコウェル協会

14:40
～14:50

休憩(10分)

14:50
～15:15

「電圧印加式コンクリート充填感知システム KZA」
／(株)東京測器研究所

15:15
～15:40

「Head-bar(ヘッドバー)」
／VSL JAPAN(株)

15:40
～16:05

「テラセル擁壁工法」
／東京インキ(株)

16:05
～16:10

休憩(5分)

16:10
～16:35

「プレストレスデッキ 1.0m×4.0m」
／大商鋼材(株)

16:35
～17:00

「クラック抑制ラバファルト塗膜工法」
／ラバファルト(株)

申込方法

① FAX.06-6201-3928

(裏面の用紙に記載)

② ホームページ (URL)

<http://www.kentsu.co.jp>

※弊社からお申込完了と受講料のお振込み案内をお送りします

参加費

無 料

申込期限

2014年2月25日

(定員になり次第、締め切らせていただきます)

連絡先

(株)建通新聞社大阪支社「新技術発表会」係 (担当: 曾根、松本(道))

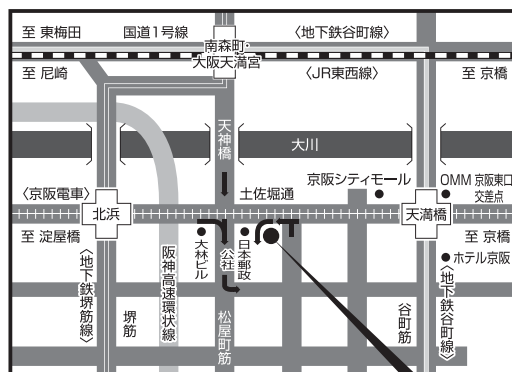
TEL.06-6201-3927

継続教育

CPDS認定(申請中)

全国土木施工管理技士会連合会のCPDS認定講習(4ユニット)

アクセス



● 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m

● 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m

● 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m

● JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m

● 車でお越しの場合は、阪神高速東大阪線、法門坂出口を左折して直進、京阪東口交差点左折、西へ信号5つ目

エル・おおさか
本館・南館

建通新聞社 大阪支社

第12回

新技術発表会

概要

土工、コンクリート工、道路維持修繕編

1

地盤改良管理システム

㈱岩崎

本システムは、バックホウ攪拌・混合作業において、GNSS搭載重機で改良区画・改良深さをオペレータにガイダンスし改良の出来形精度の向上と品質向上及び本施工完了後の帳票出力をするものである。

2

ボンテラン工法

ボンテラン工法協会

高含水比の建設汚泥、浚渫土砂、軟弱土、浄水発生土等に古紙破砕物・固化材を添加混合することで、脱水処理することなく取り扱いやすさを向上させ、優れた強度特性・高耐久性改良土として盛土・埋戻し材に再利用が可能です。

3

面的施工管理システム ロードランナー

ライカジオシステムズ㈱

本技術は3次元設計データを超精密3次元ポリライン化し、ロードランナープログラムに取り込み、施工管理(出来形、出来高)を3次元で管理するシステム。

4

高分子天然ガス圧接継手工法(エコスピード工法)

エコウェル協会

本技術は、加熱燃料に天然ガスを用いる専用のガス圧接技術で、加熱時の鉄筋接合面の酸化をPSリング(還元材)で防止します。従来は、還元炎で酸化を防止していた。本技術により、接合不良と作業負荷の低減が期待出来る。

5

電圧印加式コンクリート充填感知システム KZA

㈱東京測器研究所

本技術はひずみ測定システムと専用小型センサにより、コンクリートの充填を感知するシステムである。従来は、熱電対による温度計測と表面状態の目視確認で対応していた。本技術の活用により、コンクリート充填確認が迅速となるため、施工性が向上する。

6

Head-bar(ヘッドバー)

VSL JAPAN㈱

本技術は、せん断補強鉄筋で標準である鋭角又は半円形フックに代わるもので、従来は 施工上数々の制約があった。本技術の活用により、従来のせん断補強鉄筋と同等以上の定着性を有し、定着部が小さく継手無しで後挿入でき、多くのメリットが期待できる。

7

テラセル擁壁工法

東京インキ㈱

本技術は高密度ポリエチレンでできたハニカム状の軽量型枠を段積するテラセル擁壁工法で、従来はブロック積工法で対応していた。本技術の活用により、施工性と施工時の安全性が向上、工期短縮が図れることに加え、残土処理の削減や緑化も可能である。

8

プレストレスデッキ 1.0m×4.0m

大商鋼材㈱

本技術は、鋼板プレストレス強化工法によって、従来2.0mであった覆工板と同程度の厚さと単位重量で4.0mへ長スパン化した製品である。覆工板の長スパン化により、施工性の向上と、工期短縮、コスト縮減が期待できる。

9

クラック抑制ラバファルト塗膜工法

ラバファルト㈱

本技術は、中規模の舗装破損部分を打ち換えなしの補修で、舗装の延命効果を発揮する工法です。熔融したラバファルトを補修箇所にて塗付したうえで、直接加熱材で舗装します。施工は全て人力作業です。特別な器具・機械は必要ありません。ラバファルトは舗装のクラック抑制・剥離防止・防水を目的に開発したフィラー入り特殊アスファルトです。

3月3日(月)

新技術発表会

in大阪

受講申込書

FAX番号: 06-6201-3928

右記、記入の上
上記FAX番号迄ご送付ください

所 属 企業名・団体名

氏 名

※複数の場合は参加される方
全員をご記入ください

住 所 〒

電話番号

FAX番号

E-mail